

安曇野市図書館 第1回市民ワークショップの報告

文化課図書館係

1 目的

現在の社会は変化が著しく、市民の図書館に求めるサービスは多様化している。本市では「第2次図書館基本計画」に基づき、全ての市民に計画的で充実した図書館サービスを提供しているところであるが、市民目線で具体的に現状の図書館を見つめなおし、これからの図書館について皆で考える機会としたい。

- 2 日時 令和3年6月5日（土） 午前10時～正午
- 3 場所 穂高交流学习センター 多目的交流ホール
- 4 定員 15人（先着順）
- 5 対象者 中学生以上・一般
- 6 参加費 無料
- 7 参加者 一般参加者 8名
各館館長及び事務局 6名 計14名

8 内容

(1) 講義 「安曇野市図書館の概要」説明

ワークショップの進め方についての説明 約20分

(2) ワークショップ

約1時間40分

- くじ引きで2班に分けて実施 4人グループ+館長2名 計6名構成
- 各グループにファシリテーター（館長）を置き、進行役となってもらう。
- 話し合いで出た意見等は、付箋に書き各グループに用意された模造紙に貼っていく。
- 出された意見等を共有するため、発表しあう。

テーマ「図書館サービス・運営について」

1 安曇野市図書館のよいところ

施設や設備などに関することは除きます。

例：様々な講座、開館時間、各種サービス、ボランティア活動など

2 安曇野市図書館の改善した方がよいところ

3 こんな図書館だったらいいな！

市民が来てくれる図書館、魅力ある図書館とは、理想の図書館像を考えます。

そのためには、どうしたらよいか、手段、方法もどしどし出してください

1 安曇野市図書館のよいところ

項目	内 容
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に1つずつ5館あるので利用しやすい。 ○きれいで、親しみやすい。 ○一日心地よく過ごせる環境。 <ul style="list-style-type: none"> ・水が飲める。 ・トイレがきれい。 ・庭に緑がある。 ・ホールがあり文化的イベントもある。 ・学生など勉強したい人がゆっくり学ぶスペース ○全世代、体の不自由な方、みんなが集える図書館として配慮されている。
配架	<ul style="list-style-type: none"> ○丁寧な並べ方で利用しやすい。 ○配架がコンパクトでよくまとまっている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本や紙芝居が豊富。 ○読みたい本が10冊借りられる。 ○文学・芸術書が充実している。 ○ノウハウ本が多い。
イベントサービス	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントが充実している。 ○インターネットで予約ができて便利。 ○配本のサービスで、他館にある資料がその日のうちに受け取れるのはありがたい。
図書館職員	<ul style="list-style-type: none"> ○司書の方たちがやさしく親切である。 ○司書としての能力が高い。

2 安曇野市図書館の改善した方がよいところ

項目	内 容
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ○館内に話し合いができたり、電話ができるスペースが欲しい。 ○児童が多少声を出してもよい場所があってもよい。 ○静かな所と声を出してもよいところとの場所分けをしてほしい。 ○静かすぎてやや窮屈である。 ○開館時間で、分館も午後7時までにしてほしい。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○読む人が多い新聞は2つ買って欲しい。 ○ノウハウ本が多い。 ○社会科学、経済学系の本が貧弱 ○購入希望から決定までの時間がかかりすぎている。 ○専門書が少ない。 ○選書方針が分かりづらい。 ○YA世代のサブカルチャーに関する蔵書を増やしてほしい。

イベントサービス	<ul style="list-style-type: none"> ○企画・特集展示について、もっと来館者の興味を引くようなキャッチフレーズをつけるなど、工夫してほしい。 ○その本を読みたいと思うきっかけを作してほしい。 ○5館あるので、それぞれの特徴を出し、違う取り組みをした方が良い。
図書館のPR	○PR不足。

3 こんな図書館だったらいいな！

項目	内 容
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ○近くに飲食できる場所があるのは大切 ○自販機のない図書館への設置 ○催しの時などは、キッチンカーを手配 ○Wi-Fiを活用した5G通信を作る。 ○若者が気軽に立ち寄れる図書館づくり。 ○住民の多くが来館できる図書館 ○子供の泣き声を気にせず利用できる図書館
交通	○お年寄りのために、市内巡回する図書館バスの運行。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○基本図書（各分野）の充実 ○電子図書の導入 ○地域資料を電子化して、学校での調べ学習に対応
イベントサービス	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの人が図書館を利用するきっかけになるようなイベントの開催。 ○高校生を図書館に結び付け、高校生自身がやりたいことをやってもらう。 ○5館の場所を知ってもらうために、図書館ラリーなどを開催する。 ○おでかけ図書館をもっと活発にしてはどうか。 ○おでかけ図書館は、図書の貸出だけでなく音楽などもどうか。 ○連携し合う組織を作る。 ○大人の読み合わせ会などの開催。 ○交流学习センターと連携をした楽しいプロジェクトの計画 ○レファレンスサービスの充実。 ○学校連携の構築
図書館のPR	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビで短時間PR動画を流す。 ○SNSを利用
図書館職員	<ul style="list-style-type: none"> ○優れた人材の確保 ○司書の方々の生活保障、待遇改善
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○安曇野の文化度を高められるような図書館 ○花にたくさん蜂が集まるような、魅力ある質の高いサービスのある図書館。 ○優れた人材の確保、司書の方々の生活保障、待遇改善 ○人が集い活動する拠点とすることと、静かに読書するということは、全く逆の2つの要素。どちらも大事にしていかななくてはならない。 ○新たな文化の拠点